



6月に入り花粉や黄砂もなくなり晴れた日にはさわやかで過ごしやすい陽気の季節です。沖縄が既に梅雨入りしておりますが、このあたりでもアジサイが咲き始めて梅雨入りが近い事を感じます。良い陽気の内にお出かけしたいと思っておりますが皆様は如何でしょうか？春の陽気の中お出かけなどされましたか？気温もあがり薄着で過ごせる季節になりましたが、薄着になると若い人の間で増えているタトゥーが目に入るようになります。実はこのタトゥー、保険に関して言えば契約時の制約があり注意が必要です。

「タトゥー」 「入れ墨」 違いは何？

技術的な違いはなく、英語と日本語の違いのようです。

但し、言葉から想起される印象は多くの方が多少の差異を感じているかと思えます。

「入れ墨」 柄：伝統的な和風のモチーフ。虎、龍、観音、不動明王など色彩がカラフル

場所：背中など普段は見えない部分に大きく一面で彫ってある。

技術：深く針を刺して彫る傾向

イメージ：反社会的な勢力を想起させ、一般的な市民からは遠い存在

「タトゥー」 柄：トライバル（民族的な紋章）やバラなど単純なデザインが多い。

場所：肩、腕、足など比較的目につきやすい場所が多い

技術：単色などが多く、比較的針を浅く刺す傾向

イメージ：芸能人や歌手などの影響でファッションの一部として入れる傾向



「保険」と「タトゥー（入れ墨）」の関係



生命保険において、**保険会社から契約を断られる**ケースがほとんどです。

主な理由として①「反社会的勢力」との関係が否定しづらく、引き受けに慎重にならざるを得ない。②入れ墨（タトゥー）を彫るときに使用する針の使いまわしなどにより、肝炎やウイルス感染、エイズ等の感染症になる危険性が高くなる。③MRI 検査などで皮膚にやけどが起こるなどの可能性がある。といった事が言われております。

① の理由については、最近一部だけでワンポイント程度のものであれば引き受けの相談に応じる会社もありますがまだ少数派です。反社会的勢力と関係が無い事を証明、また肝炎の再検査など手続（申請など）が増える上に**加入が難しいのが現実**です。

② については国のB型肝炎訴訟を見ても明らかなように医学的危険性が高く、保険会社は引き受けに慎重になり、場合によっては加入できない。

もし、黙って加入した場合にはあとで契約を保険会社から無効と言われる危険もあり絶対にしてはいけません。しかし、加入後に入れた「タトゥー」については現状では何も言われることはありませんが、その後見直し時には加入できない可能性はあります。



医学的危険性だけでなく「保険」や「公衆浴場（海水浴場や温泉、サウナなど）」の多くでは「入れ墨・タトゥー」お断りになっておりますので、長い目で見た時のデメリットが多く、慎重に判断するのが大切でしょう。



メンバー 近況報告

初勝利！

岩瀬 英之

先日、商工会議所青年部の愛知県全体のソフトボール大会に参加してきました。年に一回開かれていて、昨年は悪天候のため中止でしたがそれまでの3年ほどは参加していました。経験者もほとんどいないため今まで一勝もできておらず、それどころか点とるのもなかなか難しいという実力でした（笑）そんな瀬戸の青年部でしたが、最近は30代のメンバーも増え、野球経験者複数人いるチームになりました。今年は勝てるかもしれないという雰囲気もあり、みんなでバッティングセンターに行ってみたりと大会に向けて準備していました。初戦は優勝候補のチームとの対戦が決まっていますが、今年も勝てないのかという空気の中試合が始まりましたが、なんと負けてはしまったものの0-1と健闘することができました。そのあとは負け同士の試合があり、そこでは10-1で初勝利することができました。私自身も2打数2安打と勝ちに貢献できてよかったです。普段やることのないスポーツではありましたが、みんなで練習して結果がでて盛り上がりとても楽しむことができました。今年は一勝が目標だったのに来年は優勝を目指すそうなのでしっかり練習して挑みたいと思います。



読書の習慣

小川 真紀

中学生になりスマホを持つようになった娘は、外出中はもちろん家の中でもスマホを持って、動画を見たり、LINE やゲームをしている事が多いので、少しでもスマホを触らない時間やテレビを見ない時間を作るため、口うるさいくらい読書を勧めています。それも有り、最近私もテレビを見る時間を読書へ変えるようにしています。

本は、定期的に近くの図書館へ行きまとめて借ります。探す時に12才の娘と共有して読める少し勉強になるものと自分が興味のある本を選ぶのですが、気がつくと私は「ラク」とか「ゆる」などのワードに惹かれるようで、選んだタイトルにはそのワードが入っていました。

でも、読むと決してハードでは無く寝た姿勢で「ラク」に行うストレッチ、たまには手を抜いても「ゆる」く毎日続ける事が良いと言うくらいのもので、まったく運動をしていない私の生活からすると「ラク」では無い感じでしたが、これからは、運動不足改善と健康のためにも少しずつ行うよう心掛け、適度な筋力を保ちながら健康寿命を伸ばしたいなと思っています。



百聞は一見に如かず ～旬のものを食す体験～

小川 康成

春の陽気に誘われて、家族でドライブに行ってきました、と言っても遠いところではなく蒲郡の竹島近くの蒲郡うどんの名店「やおよし」へあさりうどんを食べにいただけですが…

旬のあさをたっぷりを使い、土瓶に入ったうどんを頂く贅沢は春の時期（3月～6月）限定です。

三河湾は日本一のあさりの生産地で有り、近年では蒲郡うどんとしてご当地の新たなグルメになっています。いつも行列になっていますが店内も広いので意外とすぐに食べられます。

近年、子供達に教育だけでなく、体験にも格差が出来ていることが話題になっています。現代、ネットで知識だけはなんでも得る事ができますが、実際に現地へ行き肌で現地の空気を感じる事の大切さをヨーロッパでは特に大切にされており、親が子供に様々な体験を積極的にさせています。しかし日本では色々な理由で、体験・経験が少なく、ネットとゲームでしか遊ばない（遊べない？）子供が増えているとの事です。成人後の情緒豊かで創造性の高い人格の修養には体験が必要と言われており、体験の格差がこどもの将来に影響を与える事が指摘されていますので、娘に色々な体験をさせて行きたいと思っています。

